

# 被災3県訪問報告

1 日 程 7月30日(月)～8月1日(水)

2 参加者 山本聖志会長 川越豊彦総務部長 松沢宏尚事務局長  
花田英樹東日本大震災支援委員長

3 訪問概要

7月30日(月) 東京→岩手→宮城

## ◎岩手県校長会役員との情報交換

- ・新花巻駅から大槌町への移動の車中にて岩手県校長会役員との情報交換
- ・震災時の映像等のDVD視聴。

## ◎大槌町文化交流センター「おしゃっち」訪問

- ・大槌町の概要 人口 約12000人 震災による死者 803人。
- ・職員からの施設概要説明  
図書館・ホール等の複合施設 木造建築 約2.2mのかさ上げ
- ・復興のプロセスの映像を視聴
- ・施設見学



### ◎大槌町立大槌学園（義務教育学校）訪問

- ・釜石地区中学校8校の状況説明  
保護者の経済的状況厳しい 要ケア生徒の存在 現地でも風化の傾向  
大人が支援されることに慣れる
- ・学校の概要説明  
大槌町の4小・1中が統合して高台移転 岩手県初の義務教育学校
- ・学校施設見学



### ◎釜石鵜住居復興スタジアム視察（ラグビーワールドカップ会場）



### ◎仙台へ移動 宮城県校長会役員との懇談会

7月31日（火） 宮城 → 福島

### ◎仙台市立五城中学校訪問

- ・宮城県校長会との情報交換  
学校施設は100%復旧 かさ上げ工事のダンプの渋滞が激しい  
通常授業が一番の復興（イベントが妨げに） 学校間交流が負担  
震災時の新生児に落ち着きがない 災害対応マニュアルの作成

◎名取市立関上小中学校（義務教育学校）訪問

- ・学校施設見学
- ・学校の概要説明



◎震災遺構 仙台市立荒浜小学校訪問

- ・仙台市職員より被災状況等の説明
- ・震災時のDVD視聴



◎福島へ移動 福島県校長会役員との懇談会

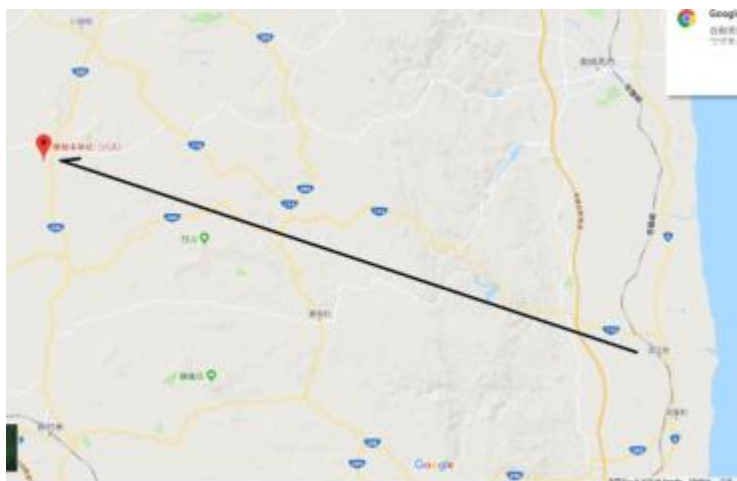
各校年間2時間程度の放射線教育 防災教育の重点は身の守り方、災害の理解)  
放射線教育に関する教員研修、教材開発が必要

7月30日（月） 福島 → 東京

◎浪江町立浪江中学校訪問

- ・施設見学
- ・学校概要説明

二本松市に学校移転（旧二本松市立針道小学校の校舎を借用）  
生徒数（3年生3人、2年生1人、1年生0人） 震災前398人  
今年度末で学校消滅の可能性もあり



◎川俣町立山木屋小中学校訪問

- ・施設見学
- ・学校概要説明

震災後、山木屋中学校は川俣中学校へ、山木屋小学校は川俣南小学校に移転  
平成29年3月避難指示解除  
平成30年4月山木屋地区に戻り、小中学校として開校  
児童・生徒数（中3年生7人、中2年生3人、中1年生0人、小6年生5人）  
来年度は中学3年生3人のみの可能性もある（小6が入学せず）  
放射線量が高い



[ 担当：東日本大震災支援委員長 花田英樹 ]